自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経営理念「医療・福祉を通じて人々の健康と安らぎを願うと共に、全社員の物心両面での幸せを追求する。」を基に、ホーム独自の理念を掲げ、ケアに反映できるように努力している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の行事やお祭りに参加したり、ボランティアを受け入れたり、またお手伝いをしていたが、新型コロナウイルス感染防止の為自粛している。	新型コロナウイルス感染防止の為地域との付き合いを自粛されているが、利用者の方の安心安全を第一に考えつつ柔軟な対応をしていただくことに期待します。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、2か月に1度、日頃の様子や事故報告など書面にて情報交換し、意見を頂いている。また、その内容を職員間で回覧周知し、サービス向上に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の観点から書面での情報共有や意見交換が行われています。 書面や活動報告通信からは日頃のサービスが垣間見れ職員の方たちの努力が伺えます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政の届け出や加算要件についての相談や、運営推進会議の内容に意見を頂いている。また市が行っている「認知症家族の集い」に参加している。	必要時市町村担当者と情報交換したり、相談などを行っていね。 また、事業所の実情やサービスについての取り組みを積極的に取り組まれていね。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束廃止に関する指針の読み合わせや3ヶ月に1度の会議の実施や年2回の内部研修を行い、廃止に向けて実践している。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を定期的に開催し、身体拘束廃止に関する指針の読み合わせをしたり話し合いをする等の取り組みがみられているので引き続き取り組みに期待します。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と共に虐待に関する勉強会を行い、ホームでケア目標を掲げ、尊厳を尊重することを実践している。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も虐待の防止の徹底をお願いします。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修として「権利擁護」について勉強する機会を持ち、必要時に活動できるよう知識を深めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際、時間をとり重要事項説明書・契約書を示しながら説明を行い理解を深めている。制度改正時もその都度説明・同意を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議や面会時を利用し、定期的に意見や要望を聞くように努めている。また2年に1度家族へ施設の取り組みのアンケートを実施し、サービスに反映するようにしている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1回会議を開催し、会議で出た提案や意見を協議したり、法人内の運営会議へ報告協議し、より良い施設作りに努めている。また、意見箱を設置し、個々の意見や提案を施設の改善へつなげている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1度人事考課を行っており、個々の努力や実績を評価して給与や賞与に反映させている。法人でアメーバ経営に取り組み、年間通して取り組みが良かった事業所は評価されるため、良い実績が残せるようにやりがいを持って取り組んでいる。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度職員が講師になり内部研修を行っている。また、法人内外の研修にも職員や環境の調整がつくときは参加しスキルアップに努めている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の方が皆、法人内外の研修に参加する機会をつくり、職員皆さんがさらなるスキルアップできるよう期待します。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の事業所やGH協会などの集まりがあるときは参加し、情報交換や勉強会を通して交流を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の残存能力に合わせて食事作りや掃除、洗濯干しなど日常の生活の中でできる所は一緒に行い、できない所をサポートしながら自立支援を行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の観点から家族の面会や外出の機会は減ったが、必要時は家族に通院連れて行って頂いたり、月に１度かわら版を作成し写真を取り入れながら日頃の様子を伝え、関係が途切れないようにしている。	感染予防の観点から家族等の面会や外出の機会は減ったが、月1度のかわら版から日頃の様子がとてもよく伺われ、関係が途切れないように取り組まれている。		
Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の視点に立ってサービスを提供できるようにケアカンファレンスやモニタリングの際、本人や家族からこれまでの生活歴を聞き取りし、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。また日々の日常会話からも要望があれば聞き取り、実践できるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で思いや意見を聞きながら、月１度のケアカンファレンス時、居室担当を中心にモニタリングを行い、新たな課題はないか、現状に即した計画となっているかを検討し、介護計画の作成に努めている。	日常的及び月1度のケアカンファレンス時にモニタリングを行い、アセスメントの結果利用者さんに対して適切な介護サービスが提供されていると伺える。	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経過記録に日々の暮らしの様子や変化などを記入している。職員は経過記録の情報を把握・共有し、ケアの実践や介護計画の策定に活かしている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望を取り入れた食事の提供や室内外イベントの実施や支援を行っている。また訪問理美容を利用し、希望者は施設で散髪ができるようにしている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の観点から地域のイベントや交流は少ないが、可能な限り参加している。また近くの図書館から本や紙芝居を借りてきたり、地域資源を活用している。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族が希望するかかりつけ医に受診している。家族対応で受診する際はバイタルチェックや日頃の様子をお伝えしている。家族の要望があれば、職員が付き添ったり、代行できる体制となっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には入院先へADLや施設での暮らしの様子などの情報を書面にて提供している。入院中も病院との情報交換を定期的に行い、利用者の状況把握に努めている。退院時はカンファレンスを行い、病院と事業所が情報交換や相談ができる環境が整っている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に終末期に関する意向確認を家族に行ったり、病状変化時に終末期や重度化した場合の確認を行っているが、全ての利用者と家族にはできていない。また、入居時に医療行為(痰吸引・点滴・経管栄養)は行っていない		A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した際や終末期のあり方についての意向確認は重要と考えます。入居時元気であってもいつ状態が変わるかは分かりませんので、入居時から出来る限りご本人及びご家族への意向確認ができる取組みを期待します。

				ことを伝えており、医療行為発生時はスムーズに医療機関や他施設が利用できるように支援している。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時のマニュアルを作成するとともに、救命救急の研修を年1回実施し、全職員が対応できるように努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内でリスク管理委員会を立ち上げ、災害をはじめとするリスクを想定したマニュアルを作成している。また災害に備えて基準の食料や飲料水を備蓄したり、年に2回避難訓練を実施している。	リスク管理委員会を立ち上げたり、マニュアルを作成する等災害対策に取り組まれている様子が伺えます。引き続き利用者の方の安心安全を守るよう取り組まれることを期待しています。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一回自己のケアの振り返りを行っている。 定期的に接遇・虐待についての研修を行い、言葉遣いや対応の仕方を勉強する機会を設けている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の基本的なタイムスケジュールはあるが、強制はせず、利用者が望んでいることに応えられように柔軟に対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	野菜を切ったり、味付けをしたり、食後の後片づけを一緒に行ったりして、食事作りに参加し楽しい食事が創出されるように取り組んでいる。また、献立も季節の食材を使用したり、希望があればすぐに取り入れ柔軟に対応している。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量と水分量を毎日チェックし、把握している。摂取量が少ない時は本人が好むものを取り入れ、摂取量増加の工夫をしてい			

				る。また利用者の体重の増減についても管理を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後に歯磨きを行っている。職員が見守り、不十分な時は介助を行い清潔保持に努めている。また、食事の前に口腔体操を行い、誤嚥やむせ込みの予防に努めている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の歯磨きはもちろん、口腔体操も行っていただいてますので、引き続き口腔ケアを行い利用者さんの口腔内の清潔保持に努めるようお願いします。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の排泄パターンの把握に努め、声掛けや誘導を行っている。本人の意向に沿い、なるべくトイレでの排泄ができるように支援している。便秘の解消には牛乳の提供や水分量の把握、軽体操を取り入れている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日を事前に知らせ、入浴の着替えの準備を一緒に行ったりしている。入浴を拒否する人には無理強いはせず時間をずらしたり、日を変えたりして気分よく入浴できるように支援している。またしょうぶ湯など季節が感じられる入浴も提供している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活習慣を把握し、体調や気分をみながら、利用者それぞれの就寝時間に合わせて休息できるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の提供に間違いがないかダブルチェックを行い、内服時は名前・日付・いつの薬か本人に確認してから提供している。薬の内容についてはカルテに挟んであり、すぐに確認できるようになっており、新しく内服する薬に関しては		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				情報共有を行い、変化を記録するように努めている。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントや日常から利用者の得意な事、好きな事を見つけ、家事全般（食材を切る、洗濯物をたたむなど）や裁縫、歌をうたうなどを日常に取り入れ楽しく生活できるように支援している。	利用者さんの得意なこと、好きなことを見つけ日常に取り入れている様子が伺えます。これからも個々の持っている能力や興味関心事に注目し、それらを取り入れたサービスの提供を期待します。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の観点から外出の機会は多くないが、 季節を感じられるようにお花見や紅葉ドライブを実施している。また近所の花屋で花や苗を購入し、施設で育てている。	感染予防の観点から外出の機会は少ないと思いますが、工夫を凝らしたサービスが伺えます。今後も臨機応変にサービスの提供をしていただきますようお願いします。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんど利用者がお金の自己管理は難しいため、欲しいものがある時は、利用者と家族に相談し立替え払いで対応している。外出の際は利用者に会計を行ってもらったりしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば電話をかけることは可能となっている。家族からのプレゼントが届いた際には、お礼の手紙を作成している。また、年賀状を利用者と作成して送ったりしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	室温、湿度を確認し、空調管理を行い快適な環境を提供できるように努めている。食堂に季節の花や作品を飾ったりして季節の移り変わりを感じて頂けるように努めている。利用者同士の気の合う、気の合わない人に考慮した座席の配置を心掛けている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の思いを聞き取りし、24時間シートを作成しそれを基に暮らしを支援するように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前に生活歴を聞き取りし、好きな事ややりたいことは継続して行うことができ、嫌いな事や物は提供しないように個々の意向に沿った対応に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェックや食事・水分量の把握に努め、利用者の体調や状態に応じて、必要時はメニューを変更したり、福祉用具を使用し、安全安楽に過ごしてもらえるようなケアを提供するように努めている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の基本的なペースはあるが無理強いはせず、過去の生活歴を把握し本人のペースにあわせて生活できるように支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真や大切にしている物、家族から届いた花などを自室に飾ったり好みのものを置いている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の観点から積極的に参加はできていないが、希望があれば外出支援を行っている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力にあわせて掃除や料理、洗濯干しなどを行っている。レクリエーション活動はなるべく全員がわかりやすいものを取り入れて参加できるように支援している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者同士が話せるように座席を配置したり、職員が間に入りコミュニケーションをサポートし、食事、掃除、料理など日々の暮らしに必要な事を一緒に行っている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため、外出や交流の機会は少ないが、新聞や広報などから地域の情報を得たり、ドライブなどで道の駅に寄って地域と交流したりしている。	感染予防の観点から外出の機会は少ないと思いますが、ドライブの機会があり際には地域の方々と交流したりできるようご支援お願いします。		
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため地域の人々との交流は少ないが、レクリエーションや季節ごとの行事などで楽しんで頂けるように努めている。またGH理念「相手を思いやる気持ちを持ち、全員が一日安全で楽しい生活を送れるように笑顔でサービスをする」を掲げ実践している。	分かり版や活動報告を見ていると、コロナ禍の中、レクリエーションや季節ごとの行事など工夫を凝らしたサービスが行われていると感じます。今後もGH理念のとおり、利用者さんも職員の方も皆が笑顔で地域で生活を送っていけるよう努めていただきますようお願いします。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

目 標 達 成 計 画

グループホームあったかいごひといち
作成日：令和　3 年　11 月　1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2 36 45	新型コロナウイルス流行により、感染予防のため地域との交流や外出支援の機会が極端に減少した。	感染予防の徹底をしながら地域と交流したり、外出する機会が増える。	・地域のイベントに参加したり、買い物をしたり、社会資源を活用し、交流を図る。 ・感染状況により、その時にあった柔軟な対応をする。	12 か月
2	23	重度化した場合や終末期のあり方について、全利用者本人・家族に意向確認が取れていない。	全利用者・家族に終末期に関する意向を聞き取りし、本人・家族が望む暮らしを支援できるようにする。	・入居の際は終末期に関する意向調査を実施する。 ・意向が確認できていない方や家族には、早急に確認を行う。また、今後は定期的に意向を聞いていく。	12 か月

●上記【目標達成計画】の取り組みについて下記にご意見を記入していただきますようお願い致します。

新型コロナウイルス流行により、地域との交流や外出の機会が思うようにつくれないと思いますが、感染状況みながら柔軟な対応を引き続きお願いします。
また、終末期のあり方については入居時はもちろん，随時ご本人やご家族に意向確認していけるよう引き続き取組んでいただきたいと思います。